

CHITOSE CENTRAL ROTARY CLUB

Passion & Green & Action. 2007-2008



発行 千歳セントラルロータークラブ

会長 入口博美 / 副会長 白木松敏 / 幹事 佐々木俊英 / 会報編集責任者 武田伸也

〒066-8520 北海道千歳市本町4丁目4 ホテル日航千歳 1F TEL・FAX.0123-26-5788

オフィシャルホームページ <http://ccrc.jp> E-mail. ccrc@f3.dion.ne.jp

会長あいさつ

会長 入口 博美

昨今の情勢の中で、原油価格高騰、石油関連製品の値上げ、食品の値上げなど原油価格の高騰に連動し生活全体に影響を及ぼしていることが、大変気になっております。

この原油価格の高騰の要因が何処にあるのかは、皆さんならばマスコミ等にて十分認識されております。

石油販売をしている立場の私から、少しだけこの辺りの話をしてみたいと思います。

まず、1バレル100ドルに迫るという報道が出ていますが、現況では50～60ドルぐらいが妥当ではないかと思えます。高騰の最大の要因は WTI という証券市場において石油が投機商品となっております、いわばマネーゲームのより20～30ドル程、値を押し上げられているとのことであります。

また、アメリカにおける在庫の低下、中東情勢、中国の需要の拡大、そして産油国の生産能力の低下が需要に追いつかないなどが高騰の要因と考えられております。

そこで、我々の生活との関連であります、12月からは、更に1リットル当たりの仕切り価格で5～6円程の値上げとなり、灯油は91円～95円以上になると思えます。石油関連商品は勿論であり、それ以外の生活必需品も追随して値上げ傾向になることは間違いありません。

燃料の値上げは、物流コストに直結しますから、あらゆる商品単価の値上げとなります。

売る側の立場としては、仕切り価格の値上げが販売単価に連動せず、利益を圧迫し苦しんでいるのが実情です。

やや暫くこの傾向は続くと思われますので、皆さんの事業所、各家庭においても「節約」を本気で考えなくてはいけない状況かと思えます。

さて、本日の例会は「クラブ協議会」となっております。継続性のある事業を、皆さんに検討して戴くという内容になります。創立20周年が事業の一つの到達点になるかもしれませんが、次の井上年度の方針と相関し今年度の「緑」のテーマを継承するのかを含めて、忌憚のないディスカッションをして戴きたいと思えます。

例会出席状況 (2007年11月27日)

会員数	32名
会員出席者数	21名
欠席者数(無断欠席)	11(3)名
出席率	65.6%
ゲスト・ビジター出席者数	0名
出席者数総計	21名

幹事報告

副幹事 武田 伸也

- 創立記念例会に、佐藤秀雄パストガバナーが出席の予定でしたが、急遽欠席されました。後日「ロータリー関係の行事出席で上京し、欠席の連絡ができずに申し訳ございません」との連絡が届き、ご丁寧にお祝いを頂戴致しました。
- 地区 WCS より、我がクラブが事業参加した昨年度のタイ・チェンマイ地区ダム事業に対し、お礼状とダム完成の現場写真が届いております。回覧しています。
- 新入会員の選挙を、11月29日までの期限にて細則13条第1節により通知しました。
- 会員手帳の作成が遅れています。校正だ！という段階で新入会員を迎えることが出来、また若干遅れそうですが、在籍33名の会員手帳として12月中旬までには、皆様のお手元に届けできるよう頑張ります。

各委員会報告

■ 須藤 丈 会員

平成20年の交通安全標語の募集について
今年度は、歩行者対象と運転者・同乗者対象に分けての募集です。

クラブからは高塚パスト会長、坂井パスト会長が入選されております。奮ってご応募お待ちしております。

■ 地区IC委員会 委員長 坂井 治

11月25日にウェブページ講習会を砂川にて開催しました。ガバナー、ガバナーノミニーのご出席もあり11クラブから23名の参加があり盛況に行われました。地区ホームページのリンク集にIC委員会のホームページ

じも運用されております。今回の講習会の記事も載っていますので、是非ご覧ください。

ニコニコBOX

- 柏田欣也会員：先日の移動例会では体調を崩し、皆様にご迷惑をお掛けし、ご心配を戴きありがとうございました。
- 入口博美会員：次々例会は欠席になるため、お詫びです。
- 坂井治会員：ウェブページ講習会を終えました。

本日のプログラム

クラブ協議会 担当/理事

「グループ討議 —中長期の事業展開について—」

——— 本日は CLP を念頭に置いた、我がクラブの事業プランについて、皆さんにグループ討議願います。

さて、CLP とは何だったのでしょうか？クラブ・リーダーシップ・プラン、クラブ組織を強化するために、クラブ規模にあわせた効果的クラブ運営の枠組みを、提供するプランです。また、その中には、ロータリー活動の理想と現実のギャップを埋める活動の推進という意味合いも含まれています。

今まで我がクラブは、単年度における事業の推進が多かったかと思われませんが、経費の面で単年度では完遂できないものを複数年度に跨ったほうがベターである、或いは、複数年度で行ったほうが、事業ビジョンの展開が芳しい事業もあります。そういったことを念頭に置かれ、皆さんには、具体的にこういった事業がよいのでは？または、抽象的な事業の方向付けを、お話し戴けたらと思います。

皆さんから戴いたご意見は、理事会で貴重な提案として、いろいろな形で討議させて戴きたいと思えます。後日、皆様には実効性のある形の事業案として、またクラブ協議会等の場でお話できるかと思えます。

(副幹事 武田 伸也)

会長 入口 博美

今年度から「緑推進」に拘りまして、支笏湖の復興の森、駅前の「友好の桜」、指宿公園での植樹と、3ヶ所に我々の意図を織り込みました。この事業を複数年度の事業として考え、来年度はこういった場所に緑を！という提案でもよろしいと思えます。

継続性の求められる事業ということで、緑事業は私の年度からスタートしまして、到達年度は 20 周年記念事業の年度かと思えます。次年度の井上年度はどのように展開していくか分かりませんが、その辺を頭においてディスカッションして戴ければと思います。

代表者発表

大野 馮 会員

地域に根ざした活動をしようではないか？

今、行政においてお金がないということで発想の展開がなかなか生まれぬ中、我々は地域に根ざした活動ということに柱にして、例えば事業対象を養護施設といったように、絞り込んでみては如何なものか。

深見 浩 会員

まとまりのない雑談になってしまった我らのグループでしたが、私が責任を持ちシビアにピックアップした情報をお伝えします。

既存の清掃活動、そして街頭啓発等の活動において、我々が作業を実践するという事は大変に大事ではありますが、それを拡大させて、市民の皆さんと一緒に、又は関連団体と手を組み合い、私たち以外の参加者を募る手法を一考してみても如何なものでしょうか。子供に魚を与えるのではなく、子供に竿と針を与えて魚の釣り方を教えるのです。人を育てるというよりも、市民と一緒に行動する事業を考えたい。そういった事業に目を向けることが肝心かと思えます。

松坂 敏之 会員

来年は千歳もジュニアサミットがあり、それとジョイントした企画を考えるのもひとつの方法。国際的にも環境の問題が大きくクローズアップされており、現実には一番の直近の問題になりうるのではと思えます。

ロータリー活動を自己満足に留めず、市民の皆さんと一緒に力を合わせてやることによって、本当の「まちづくり」ができ、また将来に亘って子供たちへ社会教育ができるのではないだろうか。自分たちの汗とお金を使ったことは、必ず身にしていかなければならないのです。

団体個々ではなく、他の団体と共同事業を展開することが本当のまちづくりになるのではと思えます。

セントラル RC だけで云々ではなく、どこかで手を結びながら共同してやっていく考え方を持って、発信し、協議をする場を設ける必要があるのかと思えます。

総括

会長 入口 博美

緑の事業を立ち上げようとした時に、「自分たちのお金を使ってやるには限界があるだろう。我々が基点となり市民を巻き込んだ事業に出来ないか？」という発想がございました。今回の討議で、RC、LC、JC が手を取り合う、または市民参加型事業の展開ができないかという共通のご提案があったと感じております。これらをひとつのスローガンとし、具体的な事業計画を検討して参りたいと思えます。

——— 貴重なご意見ありがとうございました。今後のクラブ活動に大変役に立つ内容でありました。これにて本日のクラブ協議会を終了致します。ありがとうございました！（副幹事 武田 伸也）